

事業所名

在宅障害児（者）支援センター
児童発達支援センター わかくさ

支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		個々の在宅障害児（者）をとりまく環境及び発達状況に応じた、安全かつ質の高い信頼される療育・支援に努めます。								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の重症心身障害児者や肢体不自由児，保護者のニーズに対応できるサービス提供体制の充実と専門性の向上に努める。 ・重症心身障害児者，肢体不自由児の人格・人権を尊重し，その立場に立ったサービスを提供する。 ・情報提供と十分な説明を行い，安心と信頼の支援に努める。 								
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、睡眠、排泄の援助。 ・発作の記録、家族への報告。 ・体調の変化、健康管理、異常の早期発見。 ・定時の導尿対応。 ・喘息や酸素濃度への留意。 ・疾患による頻尿と水分補給への配慮。 ・筋緊張による打撲の回避。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや職員との関わりを通して興味を広げ、運動ややり取りの発達を促す。 ・介助歩行を促す。 ・立位や膝立ちでの活動を行う。 ・活動に適した姿勢の保持。 ・いろいろな姿勢での運動を通して、手や足、身体を使う経験を繰り返す。 ・歩行以外にも体を動かす機会を増やす。 ・活動意欲に合わせた歩行経験。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びに集中して取り組めるように見守る。 ・友達と関わりやすい環境設定を整える。 ・いろいろな姿勢での運動を通して、手や足、身体を使う経験を繰り返す。 ・姿勢や環境を整えて自発的な遊びへの参加を促す。 ・いろいろなおもちゃや物品を使って興味の拡大や遊び方の広がりを支援する。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・視線や表情、発語に答えてもらう楽しさを感じてもらう。 ・声かけやスキンシップを通して不安の軽減に努める。 ・好きな遊びを見つけ、気持ちを共有し信頼関係を築く。 ・様々な気持ちを言葉で表現できるようサポートする。 ・不安や要求を受け止め、安心して過ごせるよう支援する。 ・友達と関わりあえるような環境を設定する。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・保育や友達との触れ合いの中で様々な活動を提供する。 ・好きな遊びを見つけ、気持ちを共有し信頼関係を築く。 ・友達や職員と楽しい気持ちの共有や共感を感じてもらう。 ・友達を楽しく遊べれるよう職員が仲介する。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・介助方法の連携 ・レスパイト ・進路相談 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園との連携 ・就学する学校との連携 ・他事業所との連携 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・WEB研修や伝達研修等の職場研修と園内実践発表会を充実させる。 ・課内研修などの機会を通じて、理論・技術だけでなく、福祉に携わる施設職員としての自覚と成長、モラルの向上に努める。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観（年3回） ・クリスマス会 ・卒園式 								